

地区情報・広報委員会

委員 **植村 博明**

(大阪東RC)

日時:2007年9月15日(土) 13:00~15:30
場所:薬業年金会館 601号室

『ロータリーをもっと知ってもらおう』をテーマにメディア各社の代表者を招き、広報セミナーが実施されました。言いつ放し、聞き放しのセミナーはやめようということで、講師を囲んで10人位ずつのグループが6つのテーブルに分かれて、自由にロータリーのあり方やマスコミ各社とのつきあい方などについて、語り合おうというユニークな試みでした。

講師役で参加していただいたのは、朝日新聞の安永拓史広報部次長、産経新聞の廣瀬千秋編集局次長兼経済部長、日本経済新聞の瀬良順一地方部長、毎日新聞の若菜英晴社会部長、読売新聞の小林一則広報宣伝部長、NHKの秦秀人広報部長の皆さん。

『ロータリーは世の中に役立つ良いことをたくさんやっている』『新聞記事にとりあげてもらうには、どこに連絡したらいいの?』『あまりにささやかなことなのだが、それでも記事になりますか』といったざっくばらんな話

がたくさん出ました。メディア側の講師からは『皆さんがメディアのことをどうとらえているのか、理解できて、我々のほうがためになりました』『マスコミを敬遠しないで、もっと上手に活用してください』といった感想もありました。

新谷秀一Gは、あいさつの中で『こういう形式でセミナーを開くのはおそらく初めて。RCはもっとこれからは広報・宣伝活動に力を入れて、社会での認知度を上げないと日ごろから思っていました。RCは一種のブランドです。長い歴史をかけて築いてきたブランドは高品質であり、値打ちがあります。それを社会にわかってもらうように努力しましょう』と力説しておられました。瀬戸孝太郎地区情報・広報委員長は、『RCを一段と開かれた組織に致しましょう。今回のセミナーをきっかけにメディアの方々と縁ができました。縁を大切にしましょう』と締めくくりました。

